

がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫 及びマントル細胞リンパ腫	R-ベンダムスチン(90mg/m ²)
投与予定	休薬を含めて1クール 28 日 最大 6 クール施行	

Rp	薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	手技・用法	投与時間	投与日(day-)			6クール施行後 維持療法 8週間に1回
							0	1	2	
1	生食	50ml			点滴静注	5分	↓			↓
2	(リツキシマブ施行時) 生食 + <input type="checkbox"/> メチルプレドニゾロン or <input type="checkbox"/> ヒドロコルチゾン	20ml 40mg 100mg			静注		↓			↓
3	生食★ リツキシマブ	100/500ml 375 mg/m ²	#REF! mg/body	mg/body ml	点滴静注	医師の 指示 通り	↓			↓
4	グラニセトロンバッグ デキサメタゾン	3mg/100ml 6.6mg			点滴静注	30分		↓	↓	
5	★プライミングフラッシュ生食必要★ ベンダムスチン 生食 250ml	90 mg/m ² 実際に投与する生食量は ベンダムスチン液量分を減量 →	#REF! mg/body	mg/body ml	点滴静注	60分		↓	↓	
6	生食 ◎ベンダムスチンと 同時投与	250ml			点滴静注	60分		↓	↓	
7	生食	50ml			点滴静注	5分	↓			↓

Rp	薬品名	薬価最小組み合わせ	備考
3	リツキシマブ	内訳 100mg 0mg 500mg 0mg	1~4mg/mlに希釈調製使用する。 初回: 50mg/hで開始、30分毎に50mg/hずつup。最大400mg/h。 2回目以降: 下記のいずれかに該当する場合は、当該注入速度を選択することができる。 ・初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/hで開始可、 30分毎に 100mg/hずつup。最大400mg/h。 ・臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、 かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満である場合、90分間で投与可※ ※総液量を250mlとし、最初の30分は100ml/h、以後の60分は200ml/hで点滴 生食はベンダムスチン液量分を250mlより減量すること。
5	ベンダムスチン		

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間
(リツキシマブ施行時) イブプロフェン	100mg	リツキシマブ施行 30分前	リツキシマブ 施行日
(リツキシマブ施行時) d-クロルフェニラミン	2mg	リツキシマブ施行 30分前	リツキシマブ 施行日
備考			

リツキシマブの投与日は変更になる可能性あり。
別途ステロイドを使用している場合は、
リツキシマブの前投薬のステロイドは使用しない場合あり。

ステロイドの用量・投与期間は患者の状態で変更する場合あり。

R-ベンダムスチン療法を最大6コース施行後に、8週間隔を目安として、最大12回のリツキシマブ維持療法に移行。